

ワイズデーは日本だけの記念日

11月10日は「ワイズの日」

東・西日本区の取り組みの違い

国際加盟の日

2010年11月05日 東日本区1998~2011 ヒストリアン 吉田 明弘

11月10日は『ワイズの日』

毎年11月10日は、「ワイズデー(ワイズの日)」と定められています。1928年11月10日に、大阪クラブが日本で初めてワイズメンズクラブ国際協会に加盟したことを記念したものです。

日本区時代の1993年1月と4月の区役員会で制定しました。

議案は、広報委員会から出され、毎年この日を中心に全国のワイズメンが一斉に行動を起こすことによって、外部に対しPR活動を行うとともに内部に向けては、クラブの団結、融和をはかることが提案趣旨でした。実際の活動内容は、各クラブの地域性、特色を考慮して、クラブ、部に一任するという内容でした。

これは、日本記念日協会には登録してはませんが、日本のワイズだけの記念日です。

初めてのワイズデー

この年の11月10日の第1回ワイズデーでは、区が全国的にファミリーファスト(FF)を行うことが提唱されました。通常、日本では、2月をタイム・オブ・ファスト(TOF)月として、例会の食事を節約しての献金を呼び掛けていました。ワイズデーでは、それぞれの家庭でも行おうとする呼びかけでした。

区に集まった献金60余万円は、阪和部が進めていた日本ライトハウスに盲導犬を贈るプロジェクトに用いられました。阪和部からは合計300万円が贈られました。

広報委員会が実施したアンケートによりますと(121クラブ中、回答のあったのは51クラブ)ファミリーファストを実施したのは、22クラブでした。ファミリーファスト以外に、地域にさま

ざまな奉仕活動を行ったクラブが20クラブありました。その内5クラブが、活動をマスコミで取り上げられたと回答しました。

東・西日本区の取組みの違い

東・西日本区となっても、このワイズデーは続いています。東日本区は、2000年に区のTOF事業として、各メンバーがファミリーファスト(FF)を実施することにしました。これは節食して、1家族500円を目標に献金することなどを決めました。この時は国際担当事業主任が、その後は、国際交流事業主任が主管しています。

家族で語らって節食するためには、家族が揃って食卓につきやすい、ワイズデーに近い日曜日をファミリーファストと決める年もありましたが、現在は実施日は、それぞれ決めることにしています。

今年もFF献金は例年どおり行い、HIV/AIDS関連のプログラムに用います。

西日本区は、取り組みが若干違って、ファミリーファストは、2月のTOF月間に行い、ワイズデーは、広報事業委員会が主管して各クラブが行事を行い、ワイズの知名度を高めることを主眼に取り組んでいます。そのために、ワイズデーは、イベントを行いやすい、11月10日前後の日曜日に決めています。

大阪クラブの国際加盟日

大阪クラブは、1928年10月の例会で国際加盟を決め、国際協会に申請書を送りました。12月になって到着した認証状には、チャーター・プレゼンテーションデーは記載がなく、英文で(現在申請日とされている箇所に)1928年11月10日と書かれていました。チャーターナイトは、翌

1929年1月8日に大阪YMCAで国際協会参加晩餐会を開き、認証状が大阪YMCAガイ・C・カンバース（Guy・C・Converse）名誉主事から、姉川四十二大阪クラブ代表に手渡されました。

現在は、国際加盟日は、認証状を伝達した日となっていますが、大阪クラブの場合は、この規定にあてはまりません。

国際加盟日(チャーターデー)について

チャーターデーについて、2010年10月19日に東京・四谷の日本YMCA同盟会議室で行われた文献委員会で下記の事項が確認されました。

チャーターデーについて、日本区時代からの誤解があった。

「新クラブ発足の手順と必要な手続き」の「チャーターデーは、国際協会加盟認証状に記入した日をいう」を「国際協会の基準に整合させるため「チャーターデーは、チャーター・プレゼンテーションデーとする」と改定する。

チャーターデーについてのこれまでの経過は、1987年に文献事業主任だった石井一也さん（現東京セントラル）が『日本ワイズメン運動史』（1989年）に詳述しています。

過去に国際協会に問い合わせた記録があります。1982年、国際書記長ビヨン・ペデルセン（Björn Pedersen）1986年には同イングバー・ワリン（Ingvar Wallin）から、「認証状にサインある日付は、単に国際本部が申請を受け付けた日付（申請日）であって、新クラブのチャーターナイトを開催したいと申し入れて定めた日が正式のクラブ設立日である。すなわち、認証状の最下部に明記してあるチャーター・プレゼンテーションデーが、公式なクラブのチャーターデーである」との回答を受けています。

しかし、認証状の様式が変わったため、日本区でも歴史のあるクラブの認証状には、プレゼンテーション日の記載のないクラブもあります。

金沢クラブは、チャーター・プレゼンテーションデーは1947年7月9日になっていますが、認証状の到着がどうしたことが遅れ、伝達式は1年遅れた1948年6月18日となりました。

クラブによっては、チャーターデーは、特別に自分たちで決めた日にこだわるといった現実もありました。

上記の国際の方針を確認しながらも、チャーター・プレゼンテーションデーは、クラブの都合で決めた日で、認証は申請を受理された日であると解釈して、区は、新クラブに指導してきました。

2000年4月の東日本区役員会で、クラブのチャーターデーは、国際が定めに従い、クラブがこれまで長年、チャーターデーとしてきた日は、「記念日」とすることを認める決定をしました。

あとがき

大阪クラブのチャーターナイトの式次第と晩餐メニューが残されています。

式次第に「ワイズソング」の記載がないのが気になります。この件は、数号後に『ワイズソング』のなぜ？」で触れたいと思います。

晩餐メニューは次のとおりです。

パン ポタージュ・アスパラ
イセエビ バタヤキ
ソース ベシャメル
フレ（フィレ） デ ビーフステーキ
ポテト・サラダ
プディング
モカ・コーヒー フルーツ

10数年前に、11月10日にこのメニューでワイズダイナーを食べる会を開きたいと考えました。東京YMCA神田会館にあったレストラン・オーケル社長の中富頼隆さん（当時東京）に相談しましたら、結構な値段になりますよということで、そのままになってしまいました。

今、考えると、ファミリーファストとは逆の発想でした。